

平成 26 年 3 月 25 日
福祉部高齢社会対策課

第 5 期(平成 24～26 年度)
練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

高齢者の社会参加の促進

(第 5 期計画書 p83～88)

【第 5 期計画における目標】

高齢者が、身近な地域への関心を深め、多様な分野において社会参加が進むとともに、地域づくりを支える活動の担い手としての社会参加活動にも主体的に取り組まれている状態を目指します。

【平成 24 年度当初の現状と課題】

練馬区の高齢化率は、第 5 期計画期間中に 20%を超え、5 人に 1 人が高齢者になると推計されています。

また、練馬区高齢者基礎調査によると、区内の高齢者の 80%以上の方が日常生活において自立した元気な方々です。

地域活動への参加状況をみると約 35%の方が何らかの活動を行っており、残りの方々についても、「時間に余裕があれば活動したい」、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」、「活動拠点が身近なところがあれば活動したい」といった地域活動に参加する意欲の高い方が多いことがわかっています。

区はこれまで、敬老館(室)、高齢者センター等の拠点を中心に、高齢者の生きがいづくりにつながる施策を展開してきました。今後も、高齢者の社会参加を促進し、活力ある地域づくりを推進する施策、事業への取り組みを継続する必要があります。

加えて、前例の無い高齢社会においても活力ある地域社会を維持するためには、生きがいづくりにつながる活動のみならず、高齢者自身が身近な地域への関心を深め、地域の支え合いにつながる社会参加活動に主体的に取り組むことにより、地域包括ケアシステムの担い手としての役割も期待されます。特に、第 5 期計画期間中に高齢期を迎える団塊の世代には、地域を支える中心的な人材としての期待が高まっています。

このため、区は高齢者が身近な地域への関心を深め、地域を支える活動の担い手として主体的に取り組むことができるように、活動の場・機会の提供、社会参加活動に取り組む人材の育成、情報の提供等を充実する必要があります。

【施策の方向性と主な取り組み事業】

1 多様な社会参加の促進

多様な社会参加を促進するための場と機会を提供するため、憩いとくつろぎの場である敬老館（室）や高齢者センターをはじめ、地区区民館・地域集会所等の活動拠点の連携を図ります。多くの高齢者に利用していただきながら、地域の人材等を活用し魅力ある事業を実施します。

つぎに、活動の機会として、高齢者の就業機会の創出や、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の困りごとを地域の元気な高齢者が解決の手助けをすることにより、他の高齢者の生活を支援する等、高齢者の地域貢献活動の推進を図る取り組みを推進します。

また、高齢者いきいき健康事業やシルバー人材センター、老人クラブ等の団体への支援、および生涯学習分野の施策との連携を通じ、社会参加の機会の充実を図ります。

《主な取り組み事業》

事業 57 食のほっとサロン 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
利用者 170 名（17 か所）	利用者 164 名（17 か所）	利用者 315 名（17 か所） / 26 年度

事業 71 敬老館・高齢者センター等の活用

【高齢社会対策課、地域振興課、福祉部経営課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
敬老館 11 館 利用者数 211,396 人 敬老室 （厚生文化会館および地区 区民館内） ・厚生文化会館 利用者数 11,816 人 ・地区区民館（21 室） 利用者数 118,224 人 高齢者センター 3 館 利用者数 143,496 人	敬老館 11 館 利用者数 217,238 人 敬老室 （厚生文化会館および地区 区民館内） ・厚生文化会館 利用者数 12,798 人 ・地区区民館（21 室） 利用者数 123,818 人 高齢者センター 3 館 利用者数 155,699 人	敬老館 11 館 利用者数 211,000 人 / 26 年度 敬老室 （厚生文化会館および地区 区民館内） ・厚生文化会館 利用者数 11,200 人 / 26 年度 ・地区区民館（21 室） 利用者数 114,200 人 / 26 年度 高齢者センター 3 館 利用者数 154,000 人 / 26 年度

事業 72 敬老館・高齢者センターの整備 【高齢社会対策課】

平成 24 年度当初現況	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
敬老館 11 館 高齢者センター 3 館	敬老館 11 館 整備予定 26 年度 1 施設 高齢者センター 3 館	敬老館 11 館 (「第二期区立施設改修改 築計画」にて改修を検 討) 高齢者センター 4 館 (大泉地域への新規整備 にかかる工事・整備 / 26 年度)

事業 73 高齢者いきいき健康事業 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
いきいき健康券 利用者数 60,500 人	いきいき健康券 利用者数 65,011 人	いきいき健康券 利用者数 59,000 人 / 26 年度

事業 74 シルバー人材センターへの支援 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
会員数 3,910 人 就業実人員 2,601 人	会員数 3,794 人 就業実人員 2,535 人	会員数 4,300 人 / 25 年度 就業実人員 3,182 人 / 25 年度

事業 75 アクティブシニア支援事業 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
就職者数 176 人	就職者数 178 人 平成 26 年度から「シニア しごと支援コーナー」とし て運営	就職者数 160 人 / 26 年度

事業 76 老人クラブへの支援 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
老人クラブ会員数 11,287 人	老人クラブ会員数 10,930 人	老人クラブ会員数 15,000 人 / 26 年度

事業 77 高齢者サークルへの支援 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
助成団体数 18 団体	助成団体数 16 団体	助成団体数 20 団体 / 年

事業 78 寿大学・寿大学通信講座 【文化・生涯学習課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
寿大学 参加者数延 4,636 人 寿大学通信講座 参加者数延 6,467 人	寿大学 参加者数延 4,212 人 寿大学通信講座 参加者数延 6,456 人	寿大学 参加者延 4,700 人 / 年 寿大学通信講座 参加者延 7,100 人 / 年

事業 79 高齢者のスポーツ活動の推進 【スポーツ振興課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
総合型地域スポーツクラブ (SSC) 会員数 4,328 人 (7 か所)	総合型地域スポーツクラブ (SSC) 会員数 4,231 人 (7 か所)	総合型地域スポーツクラブ (SSC) 会員数 4,000 人 (7 か所) / 26 年度

2 地域貢献につながる社会参加の支援

意欲がある方や豊富な知識、経験、技術をもっている方を、地域貢献につながる社会参加活動を担う人材として育成、活用する仕組みを充実します。

平成 19 年 10 月に開設された地域福祉パワーアップカレッジねりまや、今後開設予定の(仮称)ねりま区民大学等、活動への参加に役立つ知識等を得られる学びの場を提供します。また、高齢者見守り訪問事業、地域活動コーディネーター等、身近な地域での様々な活動や、その調整に携わる人材を育成し、多くの人材が地域で円滑に活動できるよう支援します。

《主な取り組み事業》

事業 66 高齢者見守り訪問事業 【高齢社会対策課】

平成 24 年度当初現況	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
利用者 434 人 訪問員 240 人 (年度内延べ人数)	利用者 417 人 訪問員 226 人 (年度内延べ人数)	利用者 1,000 人 / 26 年度 訪問員 260 人 / 26 年度 訪問員の増員および研修等 の充実を図る

事業 80 地域福祉パワーアップカレッジねりま 【福祉部経営課】

平成 24 年度当初現況	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
地域福祉パワーアップカ レッジねりま 学生数 4 期生 32 人 5 期生 26 人 平成 24 年 3 月実績	地域福祉パワーアップカ レッジねりま 学生数 5 期生 22 人 6 期生 40 人 平成 24 年 10 月から	地域福祉パワーアップカ レッジねりま 入学学生数 40 人 / 年

事業 81 **新規** (仮称)ねりま区民大学の設置 【文化・生涯学習課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
(仮称)ねりま区民大学の あり方懇談会の開催 6 回	(仮称)ねりま区民大学 内検討会議の開催 2 回 作業部会の開催 3 回	基本計画策定・設計 / 25 年度 改修工事 / 26 年度

事業 82 地域活動コーディネーター講座 【地域振興課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
2 回 (2 講座 × 1 回)	1 回 (1 講座 × 1 回)	6 回 (3 講座 × 2 回) / 年

事業 83 これからボランティア講座 【福祉部経営課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
練馬区社会福祉協議会による講座開催 4 回 / 年	練馬区社会福祉協議会による講座開催 3 回 / 年	練馬区社会福祉協議会による講座開催 3 回 / 年

3 社会参加につながる情報の提供

きっかけづくりや、既に活動を始めている方等への情報提供や啓発活動を行います。

第 5 期計画期間中に高齢期を迎えることになる団塊の世代をはじめ、日常的にパソコンや携帯電話等を活用して情報収集をする方はますます増えると考えられます。即時性を保ち、効果的な情報発信を図るホームページの充実等を図り、必要な情報を得やすくする仕組みづくりに取り組みます。

《主な取り組み事業》

事業 60 高齢者の生活ガイドの発行 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
高齢者の生活ガイド 25,000 部	高齢者の生活ガイド 26,500 部	高齢者の生活ガイド 25,000 部 / 年

事業 84 高齢者向けホームページ「シニア ナビ ねりま」 【高齢社会対策課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
アクセス者数 2,196 人 平成 24 年 3 月末時点	アクセス者数 2,438 人 平成 25 年 3 月末時点	アクセス者数 約 2,000 人 / 月

事業 85 生涯学習関連情報の提供 【文化・生涯学習課、スポーツ振興課】

平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 24～26 年度の 整備量・事業量等
ガイドブックの発行、周知 ・学習・文化ガイドブック 8,000 部 ・スポーツガイドブック 12,000 部	ガイドブックの発行、周知 ・学習・文化ガイドブック 9,000 部 ・スポーツガイドブック 12,000 部	ガイドブックの発行、周知 ・学習・文化ガイドブック 9,000 部 ・スポーツガイドブック 12,000 部

<p>情報収集、整理、提供の 充実 スポーツ情報誌「ねりす ぽ」発行 2回/10,000部</p>	<p>情報収集、整理、提供の 充実 スポーツ情報誌「ねりす ぽ」発行 2回/10,000部</p>	<p>情報収集、整理、提供の 充実 他の媒体活用の検討</p>
---	---	---

【評価】

1 多様な社会参加の促進

敬老館(室)や高齢者センターでは、利用者の相互交流の促進と心身の健康維持・増進を図るため、様々な教室やイベントのほか、サークル活動の場を提供することにより、参加者が増加しています。施設間の連携を図るため、情報交換や合同イベントを行いました。また、利用者アンケートを行うことで、運営や事業に利用者の意見を反映するよう図りました。

普段閉じこもりがちな方や一人で過ごすことが多い方を対象とする食のほっとサロンでは、各地域において会食を中心にお口の体操等を実施し、地域で孤立しないよう支援を、継続して行っています。

練馬区シルバー人材センターが運営するアクティブシニア支援事業では、多くの高齢者の就業機会の創出と多様な社会参加の支援をしました。区は練馬区シルバー人材センターの事業運営に対し、補助金を交付しました。

高齢者いきいき健康事業では、区内公衆浴場や区内理容店等の利用で補助が受けられる「いきいき健康券」を交付しています。高齢者がますます健康で社会参加できるよう支援し、毎年利用者は増加しています。

老人クラブや高齢者サークルへの支援では、ボランティア活動等の社会参加活動を行う団体に対して区が助成金を交付し、自主的な活動をする団体の支援を行っています。会員数、助成団体数は減少しましたが、会員数を増やすための団体活動に対しての助言や協力、助成対象事業の周知を行うなど、団体活動の支援を行いました。

寿大学(わいわく倶楽部)では、仲間とともに趣味や教養を身に付ける生涯学習講座を実施しており、講演会とクラブ活動を春季・秋季の年2回開講しています。講演会を各期1回としたことで述べ参加人数は減少しましたが、クラブ活動の回数を増やすなど各クラブ活動の内容の充実を図りました。敬老館や高齢者センター等で書道や俳句の指導を受けられる寿大学通信講座も実施し、高齢者の学習機会の提供および仲間づくりの場の提供を行いました。

地域の方々が中心となり運営する総合型地域スポーツクラブ(SSC)では、子どもから高齢者まで参加できる多様なスポーツプログラムへの参加促進やSSCの活動を周知するため、リーフレットや活動状況報告を作成し、区内施設で広く周知をしました。また、スポーツリーダー養成講習会では、受講生とSSCスタッフが協力してイベントを企画するなど、運営面での参画を促すための取り組みを行いました。

2 地域貢献につながる社会参加の支援

地域福祉パワーアップカレッジねりまでは、「区民が協働で築く“ねりま”の地域福祉」を基本理念に掲げ、地域福祉を担う人材の育成を行っています。2年間の学びを終えた卒業生は、高齢者見守り訪問事業の見守り訪問員や認知症予防推進員

をはじめとした地域福祉活動に貢献しています。

ねりま区民大学では、区民の主体的な生涯学習活動を支援し、地域活動を担う人材の育成と育成した人材を活かすことを目的としており、平成24年2月に受けた（仮称）ねりま区民大学のあり方懇談会からの提言を基に、庁内検討会議において基本計画の策定に向けて検討を進めました。

地域活動コーディネーター講座では、地域コミュニティの活性化に向けて、これから地域活動を始めようと考えている方や実際に地域活動をされている方を交え、具体的な方法やアイデアを出し合い、円滑な地域活動のために必要な仲間づくりの支援を行いました。

練馬区社会福祉協議会では、区民の方を対象にボランティア活動に関する基本的な理解を進め、活動のきっかけとなるよう「これからボランティア講座」を開催しました。また、地域への貢献や地域福祉活動を始めるきっかけづくりとして、区と練馬区社会福祉協議会との共催で「地域福祉入門セミナー」を開催しました。入門セミナーでは、地域の福祉施設や地域で活動している団体の視察などを通じて、ボランティア活動への理解を深め、区民の方の主体的な活動を支援する取り組みを行いました。

3 社会参加につながる情報の提供

インターネットの普及により、日常的にパソコン等を使用する高齢者は増えてきています。区では、健康づくりや仲間づくり、地域活動といった高齢者の社会参加活動を支援する情報発信サイト「シニア ナビ ねりま」をはじめ、文化芸術やスポーツに関する事業の情報を区ホームページに掲載するなど、ホームページを活用した社会参加のきっかけとなる情報発信を行っています。

さらに、ホームページの活用だけでなく、高齢者の生活ガイドやスポーツガイドブック等の冊子を発行することで、より広く情報提供に努めました。

【平成 25・26 年度の取組に向けて】

1 多様な社会参加の促進

敬老館（室）や高齢者センターでは、引き続き高齢者の社会参加の促進の場と機会を提供し、施設間のより密な連携も図っていきます。また、現在整備を進めている上石神井敬老館が、平成 26 年度中に開設予定です。大泉地域に整備予定の高齢者センターは、平成 28 年度の開設に向けて現在基本設計を行っています。

高齢者の閉じこもりを予防するため、食のほっとサロン事業を引き続き実施します。必要な方に適切にサービスが提供できるよう区民への周知の充実を図ります。

アクティブシニア支援事業は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により事業の継続が困難となったことから、平成 26 年度より新たに「シニアしごと支援コーナー」を石神井公園区民交流センターにあるワークサポートねりま内に開

設します。シニアしごと支援コーナーでは、高齢者の就職に役立つさまざまな講座やセミナーを開催するほか、ボランティア等の社会参加に関する情報も提供していきます。

高齢者いきいき健康事業は引き続き実施し、高齢者の社会参加の促進に努めます。

老人クラブおよび高齢者サークルへの支援では、引き続き各団体の自主的な活動に対しての助言や、助成対象事業の周知を行い、団体活動の支援を行います。

寿大学(わいわく倶楽部)および寿大学通信講座では、今後も高齢者の学習機会の提供を行い、講演会や各クラブ活動の内容を精査し充実してまいります。

総合型地域スポーツクラブ(ＳＳＣ)では、高齢者のスポーツ活動を推進していくための活動を広く周知する取り組みを継続するとともに、ＳＳＣ運営に携わりたいと考える区民と、運営を担う人材を必要とするＳＳＣを結び付けることができるような体制を整え、スポーツ活動だけでなく様々な形で活動できる身近な場として位置付けていきます。

2 地域貢献につながる社会参加の支援

地域福祉パワーアップカレッジねりまでは、引き続き地域福祉を担う人材の育成に取り組みます。卒業後に学生自身が活動の場を見つけることができるよう、事業や団体の立ち上げに関する知識習得の支援や、福祉団体・地域団体の活動の紹介などの支援を引き続き行います。

ねりま区民大学の設置に向けて、平成 25 年度は、庁内検討会議において検討し、基本計画を作成しました。平成 26 年度は、総合教育センターの跡施設を利用するため改修工事を行い、平成 27 年 4 月の開設に向けて準備を進めます。

地域活動コーディネーター講座では、各地域が持つ課題や実情に応じた講座を開催し、コーディネーターとして地域活動に取り組める人材の養成を強化します。また、受講で得られた知識や技術を、実際に活用できる機会の提供など、さらなる区民の社会参加支援に取り組みます。

社会福祉協議会では、今後も「これからボランティア講座」を開催し、より多くの方にボランティア活動を始めるきっかけを提供します。また、地域の中で様々な役割を担い活動する地域住民を支援するとともに、福祉人材の育成などの取り組みに力を入れていきます。

3 社会参加につながる情報の提供

高齢者の社会参加を支援する情報発信ツールとして、即時性のあるホームページの活用を継続し、多くの高齢者に社会参加のきっかけとなる情報の提供を行います。今後も高齢者にとって有意義で魅力ある情報の発信に努め、ホームページの内容の充実を図ります。

また、高齢者の生活ガイドやスポーツガイドブック等の紙媒体での情報提供についても引き続き内容の充実を図ります。